



銚子ジオパーク推進 市民の会ニュース

第79号
2018年1月25日

連絡先 茂木
TEL 09089472869
http://choshi-geopark.com/

2018年の銚子ジオパーク

新年あけまして、おめでとございます。銚子ジオパークも6年目を迎えました。一昨年11月に行われた再認定審査は、市民の会を含めた推進協議会の皆さまの努力により合格しました。今年も再認定審査から次の審査までの折り返し点の年です。

一昨年12月9日に日本ジオパーク委員会から出された再認定審査結果では「銚子ジオパークは拠点施設の整備や千葉科学大学等との連携による活発な教育活動、銚子ジオパーク推進市民の会をはじめとする市民のかかわりなど、4年間での前進が認められる。大地と文化をつなぐジオストーリーの深化や観光導線づくり、地層の保全問題など、さらにとり組むべき課題もあるが、これらを実現出来る体制があり今後期待できる。以上のことから日本ジオパークとして

再認定とする」とあり、昨年11月の再認定審査における茨城県北の例でもわかる通り、審査は厳しさを増しています。もう一度銚子ジオパーク再認定審査結果の課題について考えてみましょう。

また、ジオガイドについては「なにをどう伝えたらよいか？」という事も次の再認定審査にむけて考えましよう。

次に、今年初めてのジオガイドを1月3日に市民の会の伊藤小糸さんと一緒にいたしました。場所は屏風ヶ浦と犬岩です。台湾からいらつしやつたお客様ですが、日本で商売をされている、商工会の青年部の方達です。カー

ネット層・風力発電とそれに犬岩の海食洞に関心を持たれたようです。お客様も日本人だけでなく、国際化の中で外国の人も多くなっ

てきています。また、専門的な事を聞いてみたいという人。反対にガイドをしてもらうがゆつくり素晴らしい景色も眺めたいという人。お客様のニーズも多様化してきているのを感じます。ガイド技術が上がっていく中で、多様な内容のガイドができたとしても、新年にあたり考えてみました。

これからは市民の会の活動が評価されていく中で、想定外の課題もでてくるかもしれせん。市民の会も推進協議会の一員として、銚子ジオパークの発展のために皆様と一緒に頑張りて行きます。

銚子ジオパーク
推進市民の会
会長 工藤 忠男

お客様も日本人だけでなく、国際化の中で外国の人も多くなっ

本年度も10月11日から12月20日にかけて小学6年生を対象に屏風ヶ浦での学習支援活動を実施いたしました。学習支援活動は6年生理科の学習単元「土地のつくりと変化」を屏風ヶ浦の地層で学習すること、そして地元の小学生のふるさと教育を目的に、平成27年度から銚子のすべての小学6年生を対象に実施されています。

昨年度は12月から2月のという厳冬期の実施でしたが、今年度は野外活動がしやすいよう10月から12月に実施しました。時期が早まりましたので、理科で地層について学習していない可能性もありました。そこで、地層の基本をしっかり確認しながら学習

を進めていくよう心がけました。今年度の10、11月は雨や屏風ヶ浦が霧で見えないことがありました。そこで、途中から巨大な屏風ヶ浦の写真を用意するようになりました。この巨大写真をみると、地層がななめになつていている様子がよくわかるため、スケッチの確認にも有用でした。このように現場の

半のガイドツアーは、市民のガイドが行い、屏風ヶ浦の様々なひみつをおもしろく解説することにより、多くのこどもの興味を引き付けていました。

学習支援を中学高校へ

せなことだと常に感じております。また、銚子には屏風ヶ浦のほかにも銚子の魅力を伝えることができる場所が数多く存在します。銚子の人のくらしは、大地と密接にかかわっており、ふるさとの魅力を伝え、地域への愛着と誇りを醸成するには、非常に有用です。このように、ジオパークを使った学習支援を継続的に続けていきたいと思っております。さらに、中学・高校とこのように学習を広げていきたいと思います。

屏風ヶ浦は素晴らしい景観を我々にもたらすだけでなく、地層の学習場所として日本有数です。地元にあるのは本場に幸

岩本 直哉

2018年・君ヶ浜の初日の出



2018年・君ヶ浜の初日の出